

イベントプロモーション

(11) 沖縄観光感謝の集い2025 in 大阪・東京

■ イベントの様子



所感

今回の出展については、両日ともに国内需要安定化チームと共同で「沖縄観光情報コーナー」として出展した。大阪会場は、ブース設置場所が本会場の外となり、受付から会場へ向かう導線上だった為、受付から本会場へ向かうタイミングや、会終了後に知事へ挨拶に向かうタイミングでブースに立ち寄りいただく方が多かった。そのため、例年よりパンフレットの捌けが良い印象にあった。東京会場は本会場内のブース配置となり、会の最中も時折、来場者がパンフレットを求めて訪れていた。本催事は離島への興味関心の高い来場者が多く、今年度も人気離島である八重山諸島や宮古島ではなく、沖縄本島周辺15離島へのお問い合わせが多かった。既に様々な離島を周遊されている方も少なくなく、次の旅先の参考に他の離島を紹介する場面が多々あった。

また、ブースの装飾に関して、今年度制作した沖縄離島らしい風景がプリントされた背景幕を活用したことで、写真を撮影する方や背景幕からブースを認知してくれる方がいたため、視覚からの訴求は大事だと改めて感じた。Instagramのフォローで配布するためのノベルティとして、新たに制作した島ぞうりを展示していたことも、ブースへの興味を持ってもらうきっかけの1つとなり、島ぞうりに引き寄せられてブースに足を運ばれる来場者の姿も多々見受けられた。Instagramを使用していない世代や男性の来場者が多かった為、配布数は両会場合わせて16点に留まったが、今後の出展においても会話のきっかけづくりに展示していきたい。

4. イベントプロモーション

総括・課題

今年度は、昨年度に出展したイベントでの結果を踏まえ、親和性の高かったイベントへの継続した出展を行うと同時に、那覇への直行便が就航している比較的離島へアクセスしやすいエリアをターゲットに出展地の選定を行った。実際、イベント中のヒアリングでは、直行便就航地は離島への来島歴がある人や興味関心の高い人が多い傾向にあり、今後のプロモーションのターゲットエリアとしての可能性を感じた。イベントのテーマに加えて、直行便の有無や地域環境が、来島歴や旅行意欲に大きく関係するため、次年度も引き続き、直行便就航地に焦点を当てたイベントプロモーションを実施していきたい。

また、今年度は国内需要安定化チームやスポーツチーム、海外プロモーション課、各離島観光協会などと、横の連携を図りながらの出展が多く、イベントテーマや来場者層に合わせて、連携した情報発信やプロモーションを行うことにより、相乗効果が期待できる結果となったと考える。特に、新たな取り組みとなる海外プロモーション課との連携においては、韓国・台湾という沖縄県への入域客数上位の国で、更なる誘客に向けた、認知度向上の訴求を行うことができた。沖縄離島へもインバウンド客が増加する中で、新規開拓の可能性を感じられる出展となった。小規模離島においては、言語や文化の違いにより、インバウンド客の受け入れ体制が整っていない離島もあるため、各離島と足並みを揃えながら引き続き、誘客を行ってきたい。

出展内容としては、ワークショップ体験やクイズラリーなど、参加型の施策を行うことで、離島情報の印象付けや興味関心、認知度の訴求に繋がったと考える。次年度も引き続き、単に情報発信を行うブースではなく、創意工夫を凝らしたブース作りを行ってきたい。



5. 情報発信ツール制作

実施概要

本業務では沖縄離島のイメージ訴求を行い、国内外からの観光客の誘致促進を図るため、旅行博覧会・商談会等、国内で実施するイベントで来場者や観光関係者に配布するノベルティやプロモーションツールを制作。更に、航空会社等を訪問した際にも、セールス活動を円滑にするツールとして活用し、国内路線の拡充、旅行商品の造成を促進することを目的として実施した。

実施期間

令和5年4月28日～10月31日

1. スマホショルダー制作

プロモーションツールとして使用するノベルティを制作し、旅行会社等や旅行博覧会・商談会等、国内で実施するイベントで来場者や観光関係者に配布したことで、今後の沖縄への誘客、送客をより効果的に展開した。

- ①委託先：株式会社コーエイトレード
- ②契約金額：250,096円（税込）
- ③数量：550個（ブラック300個・ブラウン250個）



2. 島ぞうり制作

プロモーションツールとして使用するノベルティを制作し、旅行会社等や旅行博覧会・商談会等、国内で実施するイベントで来場者や観光関係者に配布したことで、今後の沖縄への誘客、送客をより効果的に展開した。

- ①委託先：沖縄月星株式会社
- ②契約金額：998,300円（税込）
- ③数量：24cm（430足）／27cm（430足）



5. 情報発信ツール制作

沖縄離島パンフレット「島旅日和」増刷

沖縄本島周辺離島の情報発信ツールである「沖縄本島から、ぷらっと行く島旅総合ガイド島旅日和」パンフレットを広く配布したことで、島ごとに異なる離島観光の魅力の周知に繋がった。また、具体的な離島旅行を理解し、計画を促すことで、旅行未経験者市場の開拓及びリピーターの再訪を促進し、本島周辺離島への更なる誘客を図った。

- ①委託先：光文堂コミュニケーションズ株式会社
- ②契約金額：1,859,000円（税込）
- ③数量：20,000部



「離島アクセスMAP」ポスター増刷

沖縄県内の地図上に本島と離島及び離島間を結ぶ航空路線、船舶路線と所要時間を示した「離島アクセスマップ」を県内外のイベント出展時に使用するなど利便性の高いポスターとして制作し、旅行未経験者市場の開拓及びリピーターとしての再訪を促進し、国内外における沖縄県、離島圏域への更なる誘客を図った。

- ①委託先：光文堂コミュニケーションズ株式会社
- ②契約金額：82,500円（税込）
- ③数量：200部（B2サイズ）



出展ブース装飾用背景幕制作

イベント出展ブースの装飾について、沖縄離島の特徴を生かしたデザインで背景幕を制作し、沖縄ブースを運用することで、来場者の注目を集め、沖縄離島旅行のPR効果を高めると共に、旅行未経験者市場の開拓及びリピーターとしての再訪を促進し、国内外における沖縄県、離島圏域への更なる誘客を図った。

- ①委託先：有限会社サン印刷
- ②契約金額：145,200円（税込）
- ③数量：6枚（2枚セット×3）



5. 情報発信ツール制作

マスキングテープ制作

プロモーションツールとして使用するノベルティを制作し、旅行会社等や旅行博覧会・商談会等、国内で実施するイベントで来場者や観光関係者に配布したことで、今後の沖縄への誘客、送客をより効果的に展開した。

- ①委託先：株式会社ジョイント沖縄
- ②契約金額：660,000円（税込）
- ③数量：5,000個



かりゆしウェア型ポケットティッシュケース購入

販促ツールとして使用するノベルティを購入し、旅行会社等や旅行博覧会・商談会等、国内で実施するイベントで来場者や観光関係者に配布することで今後の沖縄離島への誘客、送客促進をより効果的に展開する。

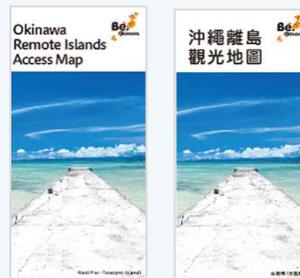
- ①委託先：株式会社日進商会
- ②契約金額：1,650,000円（税込）
- ③数量：3,000枚



「沖縄離島アクセスマップ」多言語版制作

沖縄へのインバウンド客が増加する中、慶良間諸島をはじめとする周辺15離島へもインバウンド客が訪問していることから、沖縄本島周辺離島の情報発信ツールである「沖縄離島アクセスマップ」を海外イベント等、国外でも広く配布した。それにより、島ごとに異なる離島観光の魅力を周知し、沖縄離島旅行未経験者市場の開拓及びリピーターの再訪を促進し、本島周辺離島への更なる誘客を図った。

- ①委託先：株式会社尚生堂
- ②契約金額：770,000円（税込）
- ③数量：英字 2,500部 繁体字 2,500部



5. 情報発信ツール制作

ジュートバッグ制作

自然素材を用い、燃やしても有害物質を出すことがなく、土に埋めて処理をしてもバクテリアによって分解され自然に還る素材である、ジュート素材を利用したエコバックを制作し、環境に配慮した素材やデザインを活用しSDGs への貢献と持続可能な観光（サステナブル・ツーリズム）の発信を行った。

①委託先：株式会社ジョイント沖縄

②契約金額：733,700円（税込）

④数量：2,300個



総括

今年度は様々なイベントへの出展を見据えて、複数の情報発信ツールを制作した。イベントではツールを通して、沖縄離島のイメージ訴求を行い、興味関心に繋げると同時に、WEBプロモーションで運営しているInstagramアカウント「沖縄しまさんぽ」のフォロワー獲得のためのノベルティとして使用した。ツールの内容は、過去イベント出展時のノベルティに対する、来場者の反応を参考にした選定を行い、より効果的に集客や宣伝が行えるよう、工夫を凝らした内容とした。

また、視覚的に興味関心の訴求を行うことを目的に背景幕を制作したことで、ブースへの来訪を促し、宣伝効果へと繋がったと考える。

パンフレットやポスターについては、航空路線の変更に伴い、正確な情報を届けるため、最新の内容にて増刷を行い、離島観光における情報発信に活用した。また、小規模離島を含む沖縄離島へのインバウンド客の入域数が増加傾向にあり、海外イベント出展時にはパンフレットを求める声も多かったことから、更なる離島の認知拡大と、興味関心の訴求を目的として既存の「離島アクセスマップ」パンフレットの多言語化を行った。多言語パンフレットを制作していない離島が多いため、次年度の増刷も視野に当該ツールを活用していきたい。

今後も、来場者の興味関心を惹きつける情報発信ツールの制作を行い、更なる沖縄離島のイメージ訴求を図り、観光客の誘致促進に活かしていきたい。

6. 旅行会社・メディア等招聘(15離島)

実施概要

沖縄本島周辺15 離島への誘客促進、来島者の滞在日数の延伸や島内消費単価の向上を目的に、旅行社やメディア等を招聘することで、各離島の多様で魅力ある観光体験を提供する。それにより、新たな市場を開拓し、離島旅行商品の造成促進及び離島観光資源をPR するため実施した。今年度は5 観光協会・関連団体の協力の元、メディア3件を招聘した。

実施期間

令和6年7月30日～12月3日

【実施一覧】

メディア等	実施日	訪問離島	掲載媒体	掲載日
①スターツ出版株式会社	令和6年7月30日 ～8月2日	渡嘉敷島	オズマガジン	令和6年9月12日
②海風舎	【久高島】 令和6年8月5日 ～8月7日 【津堅島】 ^{※1} 令和6年11月12日 ～11月14日	久高島 津堅島	島へ	【久高島】 令和6年9月18日 【津堅島】 令和7年1月17日
③OKIRIP おきりっぴ	令和6年12月2日 ～12月3日	伊平屋島	OKIRIP	令和6年12月28日

※1 度重なる天候不良・船舶欠航により、別日での実施となった。



6. 旅行会社・メディア等招聘(15離島)

1 スターツ出版株式会社（オズマガジン）

東京を起点とした「2泊3日程度の島旅」をテーマとして、招聘事業活用3ページ（渡嘉敷島取材）、9月に出版した「OZの旅EXPO」イベントのタイアップ1ページ（15離島全体の紹介）の合計4ページで展開した。2泊3日の短期間での旅行が可能であり、読者層のニーズに合っている渡嘉敷島を選定した。

- 実施離島：渡嘉敷島
- 実施日：令和6年7月30日～8月2日
- 掲載日：令和6年9月12日
- 発行部数：約5万部
- 招聘費用：合計 473,590円
 - （内訳） 旅費交通費 424,940円
 - 島内体験費 48,650円
- 広告換算値：中面4ページタイアップ 3,600,000円（掲載費、制作費含む）

実施内容	
7月30日	沖縄本島前泊
7月31日	・無人島カヤックツアー体験（アイランズトリップ） ・島内撮影 ・ディナー撮影
8月1日	・レンタサイクル取材 ・島内撮影 ・ポタニカルキャンドル、アップサイクルトレイ作り体験（moana candy） ・フードトラック取材
8月2日	・野草散策&調理体験（わらびや） ・フードトラック取材



6. 旅行会社・メディア等招聘(15離島)

招聘事業参加者所感

※一部抜粋

沖縄は読者が喜ぶコンテンツが多い地域ながら、制作費の観点から取り上げ見送りになるケースも多かったため、このような機会をいただけて大変ありがたかった。渡嘉敷島の自然に触れながら、島の人とおしゃべりしつつ調理はととても貴重な時間になったし、体験を楽しみつつ、島の自然や環境問題についての知識が深まった。島民の方と触れ合うという、ローカルに近づける体験が読者に刺さると思った。

掲出記事

TOYAKIJIJIMA

離島さんぽTips

離島を巡るには、島の自然や文化を堪能するために、事前に島の情報を収集しておくことが大切です。また、島の自然や文化を堪能するために、事前に島の情報を収集しておくことが大切です。

1120 離島さんぽしよう

島の自然や文化を堪能するために、事前に島の情報を収集しておくことが大切です。

1121 フードトラックで多様なランチ

島の自然や文化を堪能するために、事前に島の情報を収集しておくことが大切です。

1122 島の自然や文化を堪能しよう

島の自然や文化を堪能するために、事前に島の情報を収集しておくことが大切です。

RELAXING ISLAND TRIP

DAY 1

島の自然や文化を堪能するために、事前に島の情報を収集しておくことが大切です。



3 渡嘉敷島

1泊2日 暮らすように過ごすリゾート旅行

この旅の思い出を、写真や動画で残すのもいいですね。

TOYAKIJIJIMA

島旅コラム

まだまだあります！ 沖縄本島から行ける離島15



1 伊平屋島
2 伊平屋島
3 伊平屋島
4 伊平屋島
5 伊平屋島
6 伊平屋島
7 伊平屋島
8 伊平屋島
9 伊平屋島
10 伊平屋島
11 伊平屋島
12 伊平屋島
13 伊平屋島
14 伊平屋島
15 伊平屋島

RELAXING ISLAND TRIP

DAY 2

島の自然や文化を堪能するために、事前に島の情報を収集しておくことが大切です。

1123 島の自然や文化を堪能しよう

島の自然や文化を堪能するために、事前に島の情報を収集しておくことが大切です。

1124 島の自然や文化を堪能しよう

島の自然や文化を堪能するために、事前に島の情報を収集しておくことが大切です。

1125 島の自然や文化を堪能しよう

島の自然や文化を堪能するために、事前に島の情報を収集しておくことが大切です。

6. 旅行会社・メディア等招聘(15離島)

2 海風舎（島へ。）

日本で唯一の島マガジン『島へ。』で、過去に当媒体で特集が行われていない、沖縄本島にほど近い離島2島の旅を特集し、それぞれの島の魅力を紹介した。取材内容は観光から歴史まで多岐にわたり、各離島20ページ以上の特集となった。掲載については、天候不良や船舶の欠航に伴い、取材日程が変更となったため、それぞれ別号での掲出となった。

- 実施離島：久高島・津堅島
- 実施日：久高島 令和6年8月5日～8月7日
津堅島 令和6年11月12日～11月14日
- 掲載日：久高島 令和6年9月18日
津堅島 令和7年1月17日
- 発行部数：各刊 約2万部
- 招聘費用：合計 252,520円
(内訳) 旅費交通費 236,820円
島内体験費 15,700円
- 広告換算値：特集編集タイアップ 計42ページ
5,040,000円（取材費、交通費費別途）

実施内容			
久高島		津堅島	
8月5日	沖縄本島前泊	11月12日	沖縄本島前泊
8月6日	<ul style="list-style-type: none">・島内撮影・昼食撮影（食事処とくじん）・久高島振興会取材・商店取材・レンタサイクル取材・夕食取材（軽食はましむ）・ナイトツアー	11月13日	<ul style="list-style-type: none">・商店取材（あずま商店）・区長インタビュー・民宿神谷荘 音楽ライブ・津堅島シークルーズ・島内ガイドツアー
8月7日	<ul style="list-style-type: none">・朝食取材・塩づくり体験・海ぶどう養殖取材・昼食取材（Rumi's café）	11月14日	<ul style="list-style-type: none">・島内撮影・にんじんサイダー取材



6. 旅行会社・メディア等招聘(15離島)



招聘事業参加者所感

※一部抜粋

聖地の印象が強い久高島だが、海水浴やグランピング、ナイトツアー、のんびりとすごせる個性的な島宿など、数多くの魅力があることをあらためて知った。読者から「現地に行ってみたくなった」と多数の感想を受けとった。また、おおむねリクエスト通りご対応いただき、充実した取材を行うことができた。

掲出記事

**「神からの贈り物」イラブ料理を食し、神聖な島の海水で塩づくりを体験し、遠く東の彼方から昇る朝日を拝む
これが本物の聖地巡り**

琉球の国づくり神話や米、麦、菜、黍、豆の五穀発祥の神話が伝わり、今なお伝統の祭祀が生活に息づく島

沖縄本島最南、知念半島の東端に、北の海上に浮かぶ久高島は、神聖な島だ。人口約200人の島には、琉球文化の一端を垣間見ることができ、その歴史や神話に思いを馳せ、島の魅力を堪能できる。また、島の自然が美しく、のんびりと過ごすことができる。また、島の歴史や神話に思いを馳せ、島の魅力を堪能できる。また、島の歴史や神話に思いを馳せ、島の魅力を堪能できる。



「島へ。」編集部オススメは南城市周遊十島旅プラン!!

南城市観光協会、知念半島の観光バス、15-25分間の航路でアクセス!!

久高島、神聖な島の海水で塩づくりを体験し、遠く東の彼方から昇る朝日を拝む。これが本物の聖地巡り。

久高島の魅力を堪能できる。また、島の歴史や神話に思いを馳せ、島の魅力を堪能できる。また、島の歴史や神話に思いを馳せ、島の魅力を堪能できる。

津堅島

甘くておいしい「津堅にんじん」を育む「キャロットアイランド」
沖縄県最多のマリンアクティビティを楽しめる「レジャーアイランド」
謎めいた伝承に満ちた「ミステリーアイランド」
そして音楽による島おこしが盛り上がる「ミュージックアイランド」!!
5大パフォーマンスに満ちた津堅島の魅力をトッキングガイド

音楽で島おこし 津堅島を「ミュージックアイランド」に!!

津堅島内に40ある無人島のなかでも知名度が高い「津堅島」だ。だが、実は津堅島の魅力を知らずに訪れる人は、津堅島で音楽を楽しむことができない。津堅島で音楽を楽しむには、津堅島の魅力を知らなければならない。津堅島の魅力を知らなければならない。津堅島の魅力を知らなければならない。

音楽で島おこし 津堅島を「ミュージックアイランド」に!!

津堅島で音楽を楽しむには、津堅島の魅力を知らなければならない。津堅島の魅力を知らなければならない。津堅島の魅力を知らなければならない。

6. 旅行会社・メディア等招聘(15離島)

3 OKIRIP おきりっぷ (YouTube・Instagram)

登録者数3.9万人の沖縄観光YouTubeチャンネルとなり、初めて沖縄旅行する観光客が迷わずに最高の体験ができるように「動くガイドブック」というコンセプトにて運営している。沖縄旅行を検討・計画している視聴者に伊平屋島・野甫島の魅力を伝え、実際の誘客につなげることを目的として、取材を実施した。YouTubeと連動して、Instagramでのリール投稿も同時に行うことで相乗効果を期待した。

- 実施離島：伊平屋島・野甫島
- 実施日：令和6年12月2日～12月3日
- 掲載日：令和6年12月28日
- 視聴回数：7.6万回（3/3時点）
- 招聘費用：合計 66,016円
 - （内訳）旅費交通費 46,520円
 - 島内体験費 18,150円
 - 燃料費 1,346円
- 費用対効果： $(7.6万回 \div 66,016円) \times 100 = 115\%^*$
*ROAS（広告費に対する視聴回数の比率を表す指標）を計測

実施内容

12月2日	<ul style="list-style-type: none">・フェリー移動撮影・野甫大橋撮影・野甫売店取材・伊平屋のシーサー撮影・宿泊施設撮影（ホテルにしえ）・星空観察
12月3日	<ul style="list-style-type: none">・島内撮影・スキンドайビング体験



6. 旅行会社・メディア等招聘(15離島)

総括・課題

今年度は、昨年度までの実施方法から仕様を変更し、各離島の観光関連団体への招聘事業への参加希望は募らず、取材の受け入れが厳しい場合のみ、お申し出いただく手順とした。結果的に1離島のみ辞退となり、昨年度の参加希望団体が2離島にとどまった事と比較して、取材を行いやすい体制を作ることができた。最終的には、5観光協会・関連団体との連携を図り、取材を実施することができた。また、OCVBで事前にリサーチした観光コンテンツリストを各離島観光協会を確認していただき、追加でリストアップを希望するコンテンツの追加や紹介を控えたいコンテンツの削除を行っていただいたため、被招聘者に提示できるコンテンツ量が増え、ニーズにあった提案が行いやすくなった。

今年度の目標として、YouTubeをはじめとする動画媒体の招聘を掲げていたが、実際にYouTubeチャンネル1件の招聘を行うことができ、離島特有の自然の美しさや魅力を動画を通して感じてもらえたと感じる。動画公開後も視聴回数は伸び続けており、情報量の少ない小規模離島にとって、半永久的に情報が残り続けるYouTubeなどの媒体は、非常に有益な情報源になると感じた。次年度も引き続き、動画媒体へのアプローチを積極的に行っていきたい。

また旅行社に関しては、旅行会社や旅行業協会等に事業案内を行ったが、旅行社のニーズと各離島の受け入れ体制がマッチしていないことから、申請が無かったため、今年度はメディアへのアプローチを中心に実施した。



7. 離島観光協会等との連絡会議の開催

実施概要

離島観光活性化に向けた誘客事業（離島観光活性化促進事業）を円滑に推進し、各離島地域観光協会、関連団体との推進体制の構築、事業連携の強化を図ることを目的に各離島圏域間合同で会議を実施した。

実施期間

令和6年5月9日～令和7年2月10日

【実施一覧】

三圏域(八重山圏域・宮古圏域・久米島)			
		実施日程	実施場所
1	第1回合同会議	令和6年5月9日(木)	沖縄県 宮古事務所
2	第2回合同会議	令和7年2月4日(火)	沖縄産業支援センター308

本島周辺15離島			
		実施日程	実施場所
1	第1回連絡会	令和6年6月10日(月)	沖縄産業支援センター304
2	第2回連絡会	令和7年2月10日(月)	沖縄産業支援センター304

各離島			
		実施日程	実施場所
1	池間島観光協会との意見交換	令和6年5月9日(木)	池間島公民館
2	伊良部商工会との意見交換	令和6年5月10日(金)	伊良部商工会
3	いぜん島観光協会との意見交換	令和6年6月11日(火)	OCVB交流サロン
4	粟国村観光協会との意見交換	令和6年10月18日(金)	OCVB交流サロン
5	与那国町観光協会との意見交換	令和6年12月18日(水)	東横イン石垣島



7. 離島観光協会等との連絡会議の開催 (1) 三圏域（八重山圏域・宮古圏域・久米島）

1 第1回 三圏域合同会議

年度初めの会議では、各所担当者紹介および各圏域で予定されているプロモーション内容を共有した。また、沖縄県観光振興課からは今年度の離島観光活性化促進事業の方向性について説明を行った。さらに、今後のプロモーションに有効な施設等の視察を実施した。

- 日時：令和6年5月9日（木） 14:30～16:30(実務者会議)
令和6年5月10日（金） 8:40～13:45(エクスカーション)

■参加者：

沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課
沖縄県総務部 宮古事務所 総務課
沖縄県総務部 八重山事務所 総務課
久米島町役場商工観光課
(一社)宮古島観光協会
(一社)八重山ビクターズビューロー
(一社)久米島町観光協会
OCVB 国内プロモーション課/受入推進課



会議 議事内容

※一部抜粋

八重山 石垣市、与那国町、竹富町の3つの自治体では、レスポンスブル・サステイナブルツーリズムの考えのもと、世界から選ばれる持続可能な観光地を目指した誘客を行う方針。石垣島で6月に台湾路線が復活する予定だったが、11月に延期となっている。

宮古 5月29日にジンエアーの仁川-下地島線の就航を控えているため、宮古島市長や所長等と共にトップセールスの実施や、韓国最大の旅行博覧会であるトラベルショーにも出展し、韓国地域でのPRも行う。また、昨年度に引き続き、SNSを活用した観光情報の発信を行う。

久米島 閑散期の対策として、子育て世代やファミリーなど、閑散期にも来島が見込めるターゲットへの誘客を行うことを目的としたPRMを展開していく。6月はパークゴルフをフックとしたPRを北海道で予定。パークゴルフが出来ない冬の時期には久米島に来てもらい、パークゴルフを行ってもらうことが狙い。



7. 離島観光協会等との連絡会議の開催 (1) 三圏域（八重山圏域・宮古圏域・久米島）

エクスカーショ

- 目的：宮古諸島の海を活用した高付加価値な観光の取り組みや伝統工芸から宮古諸島独自のプロモーション方法を学ぶ。また、国際線の就航が開始された下地島空港を視察し、インバウンド客の受け入れ体制の構築を図り、離島観光への誘客強化や課題解決を目指す。
- 訪問先：人頭税石（ふばかり石）
池間漁業協同組合（池間公民館）
伊良部大橋
下地島空港 国際線ターミナル等
宮古島市伝統工芸品センター



- 池間漁業協同組合（高付加価値ツアー）



- 宮古島市伝統工芸品センター



- 下地島空港 国際線ターミナル



7. 離島観光協会等との連絡会議の開催 (1) 三圏域（八重山圏域・宮古圏域・久米島）

2 第2回 三圏域合同会議

今年度の事業報告および課題共有の場として会議を実施した。沖縄県観光振興課からは次年度（令和7年度）の離島観光活性化促進事業の方向性について説明を行った。

■日 時：令和7年2月4日（火）13：30～15:30 （一部オンラインにて参加）

■参加者：沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課
沖縄県総務部 宮古事務所 総務課
沖縄県総務部 八重山事務所 総務課
久米島町役場商工観光課
(一社)宮古島観光協会
(一社)八重山ビクターズビューロー
(一社)久米島町観光協会
OCVB 国内プロモーション課/受入推進課



会議 議事内容

※一部抜粋

八重山 今年4月以降に海外路線（台湾・韓国・香港）の復活の目途がたった。韓国は宮古島と同じジンエアーが就航するため、宮古島と一緒に連携しながらアイランドホッピングしてもらえるようなプロモーションができればと考えている。各地で食をフックとした物産のPRを実施しており、次年度も引き続き物産と絡めたプロモーションができればと考えている。

宮古 イベントプロモーションは、国内は、例年通り直行便が就航している地域を中心にイベント展開を実施した。九州路線は、スカイマークが夏季限定（7月～8月）で就航しているが、次年度は、6月20日～9月末まで就航していただけるとのことなので、引き続き通年運航を目指して、九州でのプロモーションを行っていく。

久米島 今年11月に高速船の就航が予定している。修学旅行等のプロモーション内で就航について紹介を進めている。高速船が就航することで、沖縄本島小学校の修学旅行先としての誘致を検討しており、OCVBへ相談している。次年度は海外にも目を向けながら、パークゴルフが盛んな韓国や、自転車という切り口で台湾を視野に入れながらプロモーションを行う。



7. 離島観光協会等との連絡会議の開催 (2) 本島周辺15離島 連絡会

1 第1回 沖縄本島周辺15離島連絡会

年度初めの会議ということもあり、各所担当者紹介および各圏域で予定されているプロモーション内容を共有した。また、沖縄県観光振興課からは今年度の離島観光活性化促進事業の方向性について説明を行った。

■日 時：令和5年5月14日（水）13:00～15:00（一部オンラインにて参加）

■参加者：

沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課

（一社）伊平屋島観光協会 / （一社）伊江島観光協会

（一社）いぜな島観光協会 / 伊是名村

（一社）南城市観光協会 / 南城市

（一社）粟国村観光協会 / NPO法人久高島振興会

（一社）うるま市観光物産協会 / うるま市

（一社）座間味村観光協会 / 座間味村

（一社）渡嘉敷村観光協会 / 渡嘉敷村

（一社）南大東村観光協会 / 北大東村

OCVB 国内プロモーション課 / 受入推進課



会議 議事内容

※一部抜粋

伊平屋	教育旅行に力を入れる予定。安心安全な民泊事業継続のため、村民と一緒に新規会員の発掘や民泊向けの安全講習会を実施予定。
伊是名	メインの収益事業である教育旅行の民泊についてはコロナ禍で民泊の減少、受入れ世帯の高齢化で減少してしまった。新規の民泊には保健所の許可申請料を補助している。
久高	人口160名程度に対し、7万人来島があるが、事業に繋がっていない。畑の面積や人も限りがあるので、ストーリーをつけて単価を上げる、商品の高付加価値化を促している。
津堅	観光の事業者が増えない。観光物産協会会員のフェリー運航会社の神谷観光、神谷荘、津堅島シークルーズ（マリン事業社）との連携を行い、島の認知度向上に力を入れ、県内のお客様を取り込めるよう津堅島をPRしている。
粟国	メディアの取材受入れなどに際し、OCVBのフィルムオフィスチームから取材マニュアルを共有してもらい粟国島に適した内容のマニュアルの作成を進めている。
座間味	入域客数はコロナ前に着実に戻ってきている。村の課題は、冬場の入域観光客の誘客について注視しており、コンテンツ造成を行っている。

7. 離島観光協会等との連絡会議の開催 (2) 本島周辺15離島 連絡会

2 第2回 沖縄本島周辺15離島連絡会

今年度の事業報告および「離島観光プロフィール」を基に課題共有の場として会議を実施した。沖縄県観光振興課からは次年度(令和7年度)の離島観光活性化促進事業の方向性について説明を行った。

■日 時：令和7年2月10日(月) 13:30～16:30 (一部オンラインにて参加)

■参加者：

沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課

(一社) 伊平屋島観光協会 / (一社) 伊江島観光協会

(一社) いげな島観光協会 / 伊是名村

(一社) 本部町観光協会 / (一社) 渡名喜村観光協会

(一社) 南城市観光協会 / 南城市

(一社) 粟国村観光協会 / NPO法人久高島振興会

(一社) 座間味村観光協会 / 座間味村

(一社) 渡嘉敷村観光協会 / 渡嘉敷村

(一社) 南大東村観光協会 / うるま市

北大東島振興機構 / 北大東村

OCVB 国内プロモーション課 / 受入推進課



会議 議事内容

※一部抜粋

水納	ビーチ運営を3社へ委嘱し、来島者の安心安全を守ることで、翌年の再来島やリーダー創出に繋げている。ルールを破った場合は、10日間の営業停止となる。
伊是名	全ての宿は電話予約のみのため、観光協会で24時間のチャット対応をしている。窓口が閉まっている時間でも、1人1人に丁寧な対応を行っている。(英語対応可)
久高	次年度も事業が受託できれば、小規模の学校1クラス程度を日帰り又は1泊で受け入れたい。島内には野菜や海ぶどうの工場があり、拝みの様子を見ることも出来るため、島内を島民が案内し、島について学んでもらう計画をしている。
南大東	次年度は南大東村観光協会と北大東島振興機構とで協定を締結して連携を行う。三角路線が無くなり、南大東島への路線が2便/日となったことにより、搭乗率が減っている。このままいくと1便減らされるのではないかと懸念している。
北大東	RACの利用率が下がっており、赤字路線になっている。観光と手段を用いて増やす必要があるが、搭乗率が増えると、島内の客室の不足の課題が出てくるため、行政と一緒に考えていかなければならない。

7. 離島観光協会等との連絡会議の開催 (3) 各離島 個別ヒアリング

三圏域合同会議や沖縄本島周辺15離島連絡会内では、各離島からの報告に十分な時間を設けることが困難であり、各離島の受入体制に沿った誘客プロモーションを実施するため、今年度の各離島の観光客受け入れ状況や取り組み、課題についての詳細をヒアリングする場を個別に設けた。

①池間島観光協会

■日時：令和6年5月9日（木）

■参加者：（一社）池間島観光協会
OCVB 国内プロモーション課
受入推進課



【ヒアリング内容】 ※一部抜粋

- ・持続可能な観光のために島らしさを理解しているリピーターが必要。
- ・協会としては島の生き物だけでなく空気感や雰囲気も守っていきたい。
- ・自然海岸を開発されて島らしさ（何も無い）が損なわれて観光客が来なくなる可能性があるので保全していきたい。

②伊良部商工会

■日時：令和6年5月10日(金)

■参加者：宮古島市伊良部商工会
OCVB 国内プロモーション課
受入推進課

【ヒアリング内容】 ※一部抜粋

- ・伊良部を地域主体のブランディング設定におけるモデル地域にしたい。
- ・仮に条例など法律的な拘束力がなくても、島内事業者が賛同し、主体的にルールを守るようになれば、自分たちの定めた「ブランディング」は守ることができる。
- ・宮古島訪問者のうち9割は伊良部島には来るがお金を落とせていない。



7. 離島観光協会等との連絡会議の開催

(3) 各離島 個別ヒアリング

③いぜん島観光協会

■日時：令和6年6月11日(火)

■参加者：(一社) いぜん島観光協会

OCVB 国内プロモーション課 / 受入推進課

【ヒアリング内容】 ※一部抜粋

- ・ウンナーなどの行事については、島外からの観光ツアーなども地域全体として歓迎している。
- ・商工観光課と観光協会と商工会の3者会議を月1回行っており、連携がとりやすくなっている。村としても観光に力を入れたい。

④粟国村観光協会

■日時：令和6年10月18日(金)

■参加者：(一社) 粟国村観光協会

OCVB 国内プロモーション課 / 受入推進課

【ヒアリング内容】 ※一部抜粋

- ・観光客が島に来たときに「お金を落としてもらうこと」に注力するのではなく、良い経験を持ち帰ってもらい、島のファン(関係人口)として、それを広めてもらいたい。
- ・まだプロモーションは大きくは行わないつもり。受入側の質を高めてから、それを広めてもらうことを大切にしたい。

⑤与那国町観光協会

■日時：令和6年12月18日(水)

■参加者：(一社) 与那国町観光協会

OCVB 国内プロモーション課 / 受入推進課

【ヒアリング内容】 ※一部抜粋

- ・FDAからチャーターをストップする提案もあったが、日帰りで続けられないか依頼し、日帰りツアーで組んでいただいている。
- ・与那国町が内閣府の補助金を活用し、宿泊管理システムを構築した。観光協会が空き状況が分かるシステムとなっている。



7. 離島観光協会等との連絡会議の開催

総括・課題

本事業でとりまとめている観光協会や各離島自治体に参加する実務担当者合同会議は、年度初め及び年度末の2回実施となる。昨年度に引き続き、三圏域合同会議を離島（今年度は宮古諸島）で実施。情報共有の会議と併せて、課題解決に向けた観光関連施設の視察（エクスカージョン）を実施した。参加した離島担当者にとって、課題や取り組みの共有（会議）のみでなく、実際に観光客が訪れる施設・スポットや離島側が紹介したい施設などを視察でき、今後の誘客手法について様々な意見が交わされ、有意義な時間となった。特に、国際線の受け入れを一足早く開始した下地島空港の視察においては、今後の各圏域のインバウンド客受け入れにおいて、有益な情報共有の場となった。

沖縄本島周辺15離島連絡会については、引き続き、1年に2回の全体会議を実施。昨年度より運用している「離島観光プロフィール」という共通フォーマットを使用して報告を行うことで、各離島間の共通課題や特性が分かりやすくなった。離島間での連携強化や課題解決に役立つ資料となるよう、内容の更なるアップデートを行っていききたい。

また、島ごとの誘客方針、受入課題などを踏まえて、異なる誘客戦略に基づき、効果的・効率的なプロモーションの展開を実現するため、昨年度に引き続き、個別にヒアリングや島内の視察を行った。各離島の抱える問題や方向性の理解へと繋がり、今後の誘客プロモーションにおける有益な情報収集の場となった。今後も個別のヒアリングを実施し、各離島と足並みを揃えて、相乗的なプロモーションを進めていくことで、沖縄離島の認知度の向上と魅力の発信につなげていきたい。



8. その他取組について

年度当初の企画提案に盛り込んだ、OCVBが実施する取り組みのとの連携について報告する。

(1) 離島観光振興に向けた意見交換の実施

前項「7. 離島観光協会等との連絡会議の開催」では、離島チームが中心となって、主に離島への誘客プロモーションを実施するにあたっての情報共有や意向確認などを行っており、本項ではOCVB受入推進課にて所管する「沖縄県観光協会等協議会」で実施した各種会議へ参加し、プロモーションに関わる事項についてヒアリングを行った内容について報告する。

【実施日時・場所】

	会議名	実施日程	実施場所
1	八重山地区協議会	令和6年12月17日(火)	大濱信泉記念館
2	全体協議会	令和7年2月13日(木)	沖縄産業支援センター

① 八重山地区協議会

八重山地区における観光行政関係者、OCVBでの会議を実施。各機関の現状・課題確認及び今年度業務の共有を行い、各協会からの提案議題について調整及び意見交換を行った。

■日時：令和6年12月17日（火）13:00～15:30

■参加者：（一社）八重山ビジターズビューロー

（一社）石垣市観光交流協会

（一社）竹富町観光協会

（一社）与那国町観光協会

OCVB 国内プロモーション課 / 受入推進課 / 東京事務所



② 全体協議会

沖縄県内観光協会、OCVBでの会議を実施。各機関の現状・課題確認を行い、各協会からの提案議題について調整及び意見交換を行った。

■日時：令和6年2月13日（木）15:00～17:00

■参加者：各自治体観光協会

OCVB 国内プロモーション課

受入推進課



8. その他取組について

(2) 離島観光プロフィール

「7. 離島観光協会等との連絡会議の開催」および「8. その他取組について（1）離島観光振興に向けた意見交換の実施」で実施した各離島との意見交換会や意向調査を踏まえ、昨年度に作成した「離島観光プロフィール」の内容更新を行った。また、今年度はこのプロフィールの項目を追加し、人流データ（地域カルテ）をとり入れ、ブラッシュアップを行ったことで、情報の強化へと繋がった。

【項目】

- ・誘客……誘客への取り組み（現状・課題）
 - プロモーション（ターゲット・留意事項・紹介NGスポット/他控えてほしいこと）
 - PRポイント（強味）
- ・受入……受入状況（現状・課題）
 - インバウンド誘客・受入れ
- ・県、OCVBへの要望
- ・その他（イベント出展情報、メディア招聘取材受入れ状況、パンフレット制作、SNS運用等）
- ・前年度来訪者データ（来訪者数、発地ランキング、性年代分布）



事業総括

令和6年度については、事業共通テーマ（屋外アクティビティ、ウェルネス・リトリート、スロートラベル）に、新たに「人とのつながり」を加えた4つのテーマを設定した。また、離島にエリアごとのターゲットを設定し、それぞれのターゲットの誘客を図るプロモーションを実施した。

事業はメディアプロモーションを基軸として、メディア招聘とイベントプロモーションを掛け合わせ、面での展開を行った。また「沖縄しまさんぽ」のSNS（Instagram）を活用した、旅マエ・旅ナカの離島観光情報発信に力をいれ、令和4年度にアカウントを立ち上げ、今年度の目標としていた1万5千フォロワー、3月時点では年度当初から約10,000人増加の2万フォロワーを達成し、自然検索上でも上位で認知されるようになった。

イベントプロモーションについては、国内外合わせて12イベントに出展した。OCVB海外プロモーション課と連携し、台湾および韓国市場における旅行意識の調査および「沖縄離島旅」の認知度向上を図った。インバウンドについては、新たなターゲット層の創出を目的に次年度以降も継続した出展を検討したい。また、国内においては、首都圏以外での地方のイベントに出展する事で、各地域によって沖縄に対する興味関心に差があり、またそれらの要因がその地域の特性にあることがわかった。次年度に向けて出展イベントの選定に際し参考にしたい。

チャーター便支援については、今年度は、出発利用空港も松本（長野）～長崎まで5出発地のチャーター便申請があり、給油目的利用で他県空港を経由する設定もあった。また、久米島・みやこ下地島・与那国島を周遊利用する設定もみられた。

昨年度と比較し申請が減っている理由は、離島空港のグランドハンドリング不足によりチャーター便の受入れができないことが主な原因である。一方で、国内チャーター便支援事業については、引き続き需要はあると考えられることから、これまではチャーター運航実績のある航空会社を中心にアプローチをしていたが、その他の航空会社への周知も積極的に行っていききたい。チャーター便支援については、チャーター便利用を機に初めて沖縄離島へ訪れる観光客もおり、その後観光客自身で再訪する方もいる。新規市場の開拓にはチャーター便支援が有効な手段と考えるため、次年度以降も広く利用いただけるよう周知を図る。

各離島との連携については、年度当初と年度終盤の二回に分け、各離島との広域連絡会議を実施した。八重山ビジターズビューロー・宮古島観光協会・久米島町観光協会およびOCVBでの三圏域合同会議においては、離島開催した。今年度は宮古諸島開催とし、例年実施する対面式の会議と併せて、エクスカーションとして実際に観光客が訪れる施設・スポットや離島側が紹介したい施設などを視察し、今後の誘客手法について様々な意見が交わされるなど有意義な時間となった。

次年度については、八重山開催を予定しており、関係団体と実施に向け調整を進めていきたい。



事業総括（つづき）

本島周辺15離島との連絡会においては、一同に集まる対面の会議のほか、各事業（招聘、メディアプロモーション等）実施に関連した離島出張と合わせて、個別に意見交換を行った。

昨年度作成した、各離島における誘客・受入の現状・課題、今後強化したい点、逆に留意してほしい点などを可視化、共有を目的として「離島観光プロフィール」について、今年度は人流データを追加するなど内容をアップデートした。今後も人流データ（地域カルテ）やWEB・SNSのインサイトデータを分析し、さらなるブラッシュアップを図ると共に、OCVB内関係部署への共有により、横断的な連携およびプロモーション展開を図っていく。

令和7年度については、メディアプロモーションを事業全体の中心に据え、最も強化すべきプロモーションと位置づける。「沖縄しまさんぽ」のWEBサイトを沖縄離島観光のポータルサイトとして、より信頼性のある安定的な情報発信サイトへ進化させるため、WEBおよびSNSの管理運営を担う人員をそれぞれ配置し、これまで外部に委託してきたプロモーションの一部を内製化を進めていく。

引き続き、各離島の資源を活用した高付加価値コンテンツの掘り出しや、旅マエ・旅ナカの情報発信を行い、さらには、旅アトの施策として、人流データ（地域カルテ）、WEB/SNSのインサイトデータを分析・活用し、各種プロモーション手法の向上や新たな施策の打ち出しを図り、沖縄離島観光の魅力の多様化および高付加価値化に繋げていく。





一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー

国内事業部 国内プロモーション課

☎098-859-6125 ✉ ritohaku@ocvb.or.jp